



役場庁舎・消防庁舎建設に関する住民説明会を開催しました

新たに建設する役場庁舎と消防庁舎に関する住民説明会を、8月3日から8日に村内各地区で開催しました。

今年3月に終えた基本設計を踏まえ、庁舎等の配置計画、各庁舎の平面図、概算事業費、財源内訳、建設に関する今後のスケジュール、及び今後10年間の村の財政運営計画を説明させていただきました。

参加された村民の皆様からの主な意見や質問等は次のとおりです。

問 建設場所の選定について。計画地が一断面での計画であれば、学校のグラウンドや野球場に建てたらいいのではないか。

答 多目的グラウンドを活用する場合は、起債目的が変わるため、多目的グラウンドを整備するために借り入れた起債残高を全額一括返済する必要がある。また、建設場所については、各団体の代表者で組織する検討委員会に諮問し、古野地区高台を選定いただいた。その後の具体的な場所は庁内で協議・選定し、令和4年3月に開催した住民説明会で説明し、議会の特別委員会でも意見集約していたら決定した場所なので、これまでの経緯も踏まえて変更することは考えていない。

問 計画している建設用地に村長の土地があるが、倫理的に問題があると思う。

答 村長の土地は全体の約10%である。

り、寄附は公職選挙法に抵触するたためできない。全体事業費を抑えるため、用地を有効に活用するためには必要であると判断した。

問 駐車スペースが多いと思う。非常時はグラウンドや野球場を使用すれば、役場近辺に多くの駐車場は必要ないと思う。

答 冬場の駐車場確保、現在、野球場の駐車場は不足している状況であるためその解消、有事の際の一時避難場所に活用することを計画している。

問 周辺民家への防風対策について。

答 お盆明けに近隣住民を対象にした説明会を開催予定であり、意見を伺いたいと思っている。

意 ウオーキングコースの設置やスポーツ公園との連携、また、桜の植樹など環境整備にも取り組んでほしい。

問 近隣民家の裏に道路を計画しているが一般車両も通行するのか。

答 現段階では緊急車両のみの通行を考えている。

問 冬期間の道路対策について。

答 国道からの村道は冬期間、圧雪、アイスバーン現象が発生、車の交通量も増えるので、様々な工法があるなかで、工事費や維持管理費等を含め

て検討している。

問 鉄骨造を選択した理由について。

答 鉄筋コンクリート造、木造、鉄骨造で建設した場合のそれぞれの事業費を比較検討して、一番安価な鉄骨造を選択した。

問 防災拠点としての整備で、非常用電源は確保しているか。

答 役場庁舎、消防庁舎ともに整備予定である。

問 出生から死亡届まで1ヶ所です続きを済ませる体制づくりについて。

答 現在は役場本庁舎とげんきかんで手続きを要するために村民に不便をかけている。新庁舎においては手続を要する課を1階に集約し、ワンストップで済むように計画している。

意 現在の村民生活課が新庁舎へ移動されたあとも、医療、福祉、介護をしっかりと連携とれるように絆を深めてほしい。

問 メンテナンスは建設業者がどこまで対応するか。

答 メンテナンス業者に委託することを想定している。

問 事業費が増える可能性は。基本的には基本設計の金額を最



大値として考えているが、予想以上の人件費及び資材・燃料費等の高騰があった場合は増加する可能性もある。

問 基本構想時点からの事業費増大について。

答 基本構想では建設工事費を説明しており、建設工事費だけみると二十％程度の増加となっている。人件費や資材の高騰などある程度想定していたところである。

意 身の丈に合ったものにして欲しい。今後の財政運営をしっかりとするように。

問 地方債元利償還金の七割が交付税措置されるということは、地方債十八億円のうち、償還に必要な一般財源はいくらか。財政運営計画に入っているか。

答 十八億円のうち七割が補填されるので実質的な一般財源は五億四千万円である。地方債の償還額は財政運営計画の公債費の欄に、交付税は地方交付税の欄に入っている。

問 一般住民に税金が上がるなどの負担はないか。

答 村税が上がることは無い。
問 高台へ移転することで不便になる住民対応は。

応するなど、対策を検討しており、新庁舎開庁までには示したい。

問 これからの意見・要望は今後反映してもらえるのか。

答 基本設計を極端に変えない範囲で、事業費等も考慮して可能な範囲で検討していく。

問 プロポーザルにできなかった理由は。

答 プロポーザルは工事費や設計内容の変更が難しい場合が多いことを踏まえ、基本構想、基本設計、実施設計の三段階で取り組んでいる。

問 設計を業者に委託した時点で談合ではないか。

答 役場には設計をできる職員がいないため、設計等の業務委託は必要である。委託したからといって談合になるとは考えていない。

問 防災ハザードマップと庁舎移転の関係性について。

答 新役場庁舎は一時避難場所としての活用計画もあるので、建設に合わせて地域住民の声を聴き、ハザードマップの更新に反映させたい。

問 村の将来人口について。

答 風間浦村第八期介護保険事業計画における推計では令和二十二年度で約八百六十人となる。

意 人口推移など考慮して事業を計画するべきだし、それらの情報提供

も欲しい。

問 一時避難場所となる新庁舎が停電時に一週間程度は対応できる想定か。

答 国の指針に合わせて七十二時間対応できる非常電源等を計画している。

問 庁舎建設に福島の除染土を利用するのか。

意 除染土を受け入れることによる観光や一次産業への影響について考えて欲しい。
答 除染土を使用する計画は無い。

問 今後の説明会開催について。

答 資料高騰等により大幅な事業費の見直しや実施設計で大きな変更等が無い限り開催は予定していない。

問 資料の每户配付について。

答 説明会の内容を要約した内容を広報かざまうらへ掲載する。

問 新庁舎建設と現庁舎解体を一体で計画するべきと思うが。

答 現在の役場、消防、中央公民館の解体は令和九年度を計画している。

意 この計画で良いか、住民投票をやったらどうか。
問 ホームページへの掲載について。

答 早急に対応し、広報と合わせて情報発信、情報共有に努める。

問 用地買収はすでに終了しているか。

答 開発許可が必要となり、その許可がおりしだい契約に着手する。

問 太陽光発電は検討しているか。

答 庁舎の屋根部分に発電施設を設置すると更に強度の高い庁舎にする必要があり事業費が膨らむため、役場庁舎整備事業とは別に補助事業を活用して駐車場などに設置することを検討している。

問 消防庁舎建設にあたって、視察した消防署はあるか。

答 むつ下北管内の消防庁舎を視察・見学している。

問 新消防庁舎の女子職員への配慮について。

答 女子職員専用の仮眠室のほか、トイレ、シャワー、ロッカー等についても男子職員と分ける計画である。

問 第一分団屯所の高台移転について。

答 村内全ての消防団屯所が津波浸水想定区域内にあるので、消防団幹部会議などで話し合っており、方向性を決めていきたい。

新庁舎に対する意見や問い合わせはいつでも受け付けておりますので、庁舎建設担当までお寄せください。

【お問合せ先】

風間浦村 総務課 (庁舎建設担当) ☎ 0175-35-2111